

各 位

株式会社 みなと銀行

環境省「地域におけるESG金融促進事業」の採択について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）は、顕在化しつつある廃プラスチックごみ問題への取組支援において、環境省が実施する「地域におけるESG金融促進事業」の支援先機関として採択されましたので、下記のとおりお知らせします。

みなと銀行は、お取引先とともに地域発SDGsの取組の輪を拡げること、またSDGs達成に向けた取組とESG金融の実践による具体的な施策の展開を通じ、持続可能な地域社会の実現、地域経済の活性化に取組んでまいります。

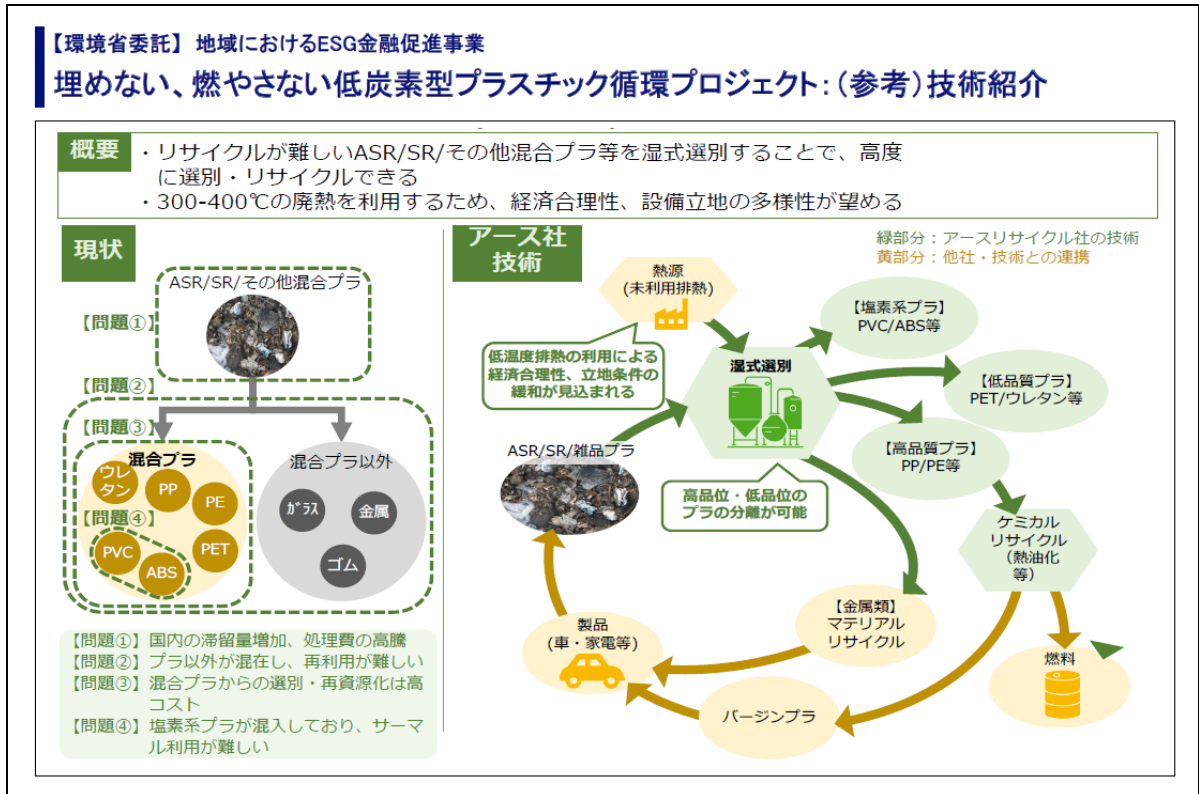
記

1. 概要

(1) 事業名称	地域におけるESG金融促進事業（環境省） ※当行は採択された支援先機関として事業構築支援およびESG要素を考慮した事業性評価を実施 ※全国の地域金融機関より5機関採択（2019年9月2日時点）
(2) 事業概要	本事業（環境省）は、ESG地域金融を促進することを目的として、有望なグリーンプロジェクト等の地域の市場調査、将来性・利益性の掘り起こし、支援先機関におけるESG要素を考慮した事業性評価及びそのプロセス構築等の支援を行うもの
(3) 採択案件名	埋めない、燃やさない低炭素型プラスチック循環プロジェクト（仮称）
(4) 案件概要	低炭素型プラスチック循環事業（リサイクル） ・アースリサイクル株式会社（兵庫県たつの市）の特許技術である「溶媒を使った湿式選別技術」を活用し、混合廃プラスチック（複数種類のプラスチックの混合廃棄物で、現状では焼却処理や埋め立て処分等に依存せざるを得ない）を選別可能とし、混合廃プラスチックのリサイクル可能性を広げるもの ・300～400℃の廃熱を利用するため、経済合理性、設備立地の多様性が望めるもの ・海洋プラスチックごみ問題が新たな環境問題として注目される中、当行はその解決策となりうる地元企業の技術を活用し、廃プラスチックの排出からリサイクルまでのバリューチェーンの構築および事業化への支援を通じて、地域発の廃プラスチック問題解決への寄与を目指すもの
(5) 関連事業者	アースリサイクル株式会社（技術） 株式会社野村総合研究所（調査・事業性の検討・事業性評価の支援）



【ご参考】プロジェクト概要イメージ



2. 本件の対応するSDGs

- Goal 8 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を推進する
- Goal 9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- Goal 12 持続可能な生産消費形態を確保する
- Goal 13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- Goal 14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

